

# 大名みえ子です

〒319-1112 東海村村松 2401-2

電話・FAX 029-284-0761

E-mail toukai@oona-mieko.info

安倍再改造内閣

## 稲田防衛相就任が示す “憲法攻撃” 内閣

危険。名うての靖国派



衆参両院で改憲勢力が3分の2の議席を占めるもと、安倍晋三首相は3日の内閣改造で、自民党内きっての改憲タカ派で知られる、稲田朋美前政調会長を防衛相に抜てきし、明文改憲への強い意志を示しました。参院選中は街頭演説で一言も改憲に触れなかった安倍首相は、選挙が終わるや「いかにわが党の案（自民党改憲草案）をベースにしながら3分の2を構築していくか。これがまさに政治の技術」と態度を「豹変（ひょうへん）」させたのです。「憲法攻撃内閣」というべき様相です。

憲法尊重擁護義務をかなぐり捨てるように、安倍首相は安保法制＝戦争法で憲法破壊を強引に推し進め、さらに「（自民党総裁）任期中の改憲」への意欲を明言するなど、露骨な改憲姿勢を発信してきました。その旗振りをしてきたのが稲田氏です。

今年2月の衆院予算委員会の質疑で「憲法改正については、やりやすいところからやるべきだ」という議論もありますけれども、私は9条2項などのように、本質的な議論をする」と安倍首相に9条改憲を迫りました。安倍首相は、「自民党は憲法改正草案を発表し、9条2項の改正と自衛権の明記、自衛のための組織（国防軍）の設置など、将来のあるべき姿をお示ししている」と答弁し、“9条破壊”が改憲の本丸であることを示しました。

防衛相に就任した稲田氏は、戦争法の具体的発動を担うことになります。戦争法の発動に対しては、その都度国会論議においても、広範な国民世論においても、戦争法の違憲性が大論争になります。

稲田氏は前出の衆院での質問でも、自衛隊が憲法違反だという主張が憲法学者の7割を占めるもとで、「現実には合わなくなっている9条2項をこのままにしておくことこそ、立憲主義を空洞化する」と主張。“戦争法違憲論”を、自衛隊違憲論とすり替え、改憲論議を推し進める手法を示しています。

**名うての靖国派** 他方で稲田氏は、日本の侵略戦争を正当化する、名うての「靖国」派の一人です。同氏が政界入りする以前、小泉純一郎首相による「靖国」連続参拝のもと、2004年8月15日の靖国神社境内で行われた日本会議の集会で、「総理の参拝」を求めながら「神州不滅」などと“気迫”の演説をしました。「東京裁判史観からの脱却」を公言し、侵略戦争正当化の急先鋒（せんぼう）である稲田氏が防衛相に就任することは、中国、韓国はじめアジア諸国から「日本軍国主義復活」の危機感を呼び起こし、緊張を激化させる重大な懸念があります。

## 一足早く、福島へ。浄土平鎌沼コースを散策



「大名」の墓がある福島は、毎年訪れていますが、今年は都合で、一足早く3、4日に行き、浄土平まで足を延ばしました。少しだけ登山の気分をと、一般向けの鎌沼コースを散策。普段運動不足の身体にはきつかったのですが、出会う他の方々と挨拶を交わしながら鎌沼が見えるところに着いたときは、とても気持ちよかったです。

シーズンからいっても、色合は緑以外なにも見えませんが、天候に恵まれ、きれいな景色を堪能できました。

吾妻山の噴火警戒レベル2による火口周辺規制が敷かれ、通り抜けできないコースがありました。